



大原やすお

4/16 大原やすお後援会女性部

すずすず 寿々の会と命名

かねてより検討中だった後援会女性部の名称が「すずすずの会」に決まりました。大原弥寿男の「寿」をとって鈴の音が広がるようにこの会も！と命名されました。



第1回となった寿々の会懇親会（4月16日開催）には130名もの女性にお集まりいただき、議員を囲んで歌に踊りに三味線にと芸能も披露され楽しく絆を深めることができました。

4/15 大原やすお後援会

国会議事堂とスカイツリーの旅

古賀衆議院議員のお世話で国会見学。本会議場、執務室ほか議員会館で昼食も。屋形船から一周年ライトアップのスカイツリーを見ながらの夕食は大いに盛り上がりました。ほかに浅草寺、靖国神社、東京駅と盛りだくさん。もちろんスカイツリー展望台にも行きました。360度の展望は絶景でした。



見学を終え国会議事堂前で記念写真（前列中央は古賀篤衆議院議員）

6/24 市議会傍聴

大原議員の一般質問を多くの後援会のみならず、興味深く、熱心に傍聴されました。傍聴は初めて。議会の様子も分かったし、大原議員も堂々としてかっこよかったです。来てよかったと参加の女性。次回はいかがですか？！



傍聴席の後援会のみなさま

いごころ

今回の参議院選挙は経済や憲法・TPP、消費税等私たちにとても重要な問題が争点でしたが、盛り上がりには欠けた国政選挙になりました。結果は自民党圧勝で国会でのねじれが解消されました。この時こそ、票を得るための大衆迎合の政策に惑わされることなく、孫や子どもたち次世代を見据えた政策を構築していただけるものと期待します。

過日の新聞では、英国の情報誌「モノクル」による「世界でも最も住みやすい25都市ランキング」に福岡市がパリより上位の12位にランキングされました。コンパクトな都市機能や身近な自然、そしてアクセスの良さが評価されたようです。課題としては、自転車の利用しやすい街づくりが足りていないこと、大卒の人材の流出、それに加えて国際企業が少ないとのこと。アジアのリーダー都市としての国際都市を目指す本市としても、もっと住みやすい都市を目指して、いろいろな課題を克服していかなければいけないと思っています。国際リニアコライダーの立地が脊振山系に実現すれば、このことにもっと弾みがつくものと、誘致に向けた活動を引き続き行っていきます。

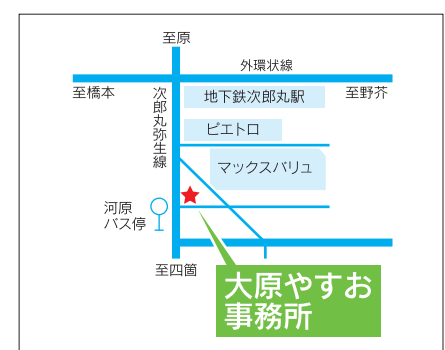
おじゃましました

地域行事やスポーツ大会、勉強会や懇親会等に参加させていただき、ともに学び、考え、楽しみながらみな様とともに前進したいと考えております。



おさそい 寿々の会バスハイク

寿々の会では毎年バスハイクを行っています。今年は10月下旬に梨狩りを予定しています。詳しくは事務所までお問い合わせください。

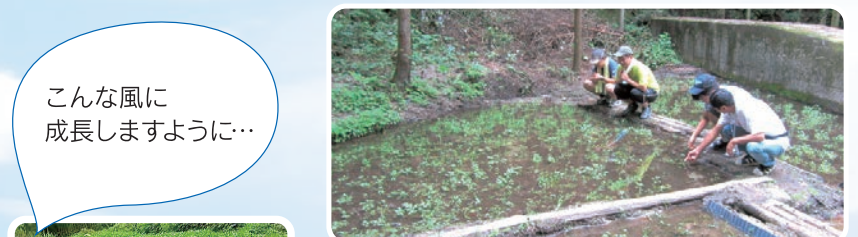


お気軽にお立ち寄りください。
大原やすお事務所
福岡市早良区次郎丸4丁目9-37 (サンラク次郎丸)
TEL 092(863)9567
FAX 092(863)9568
Mail info@oohara-yasuo.jp

転換期を迎える日本の農業



かつては天皇へ献上米を出した脇山地域



クレソンの生育を見る施設の方々

こんな風に成長しますように...



クレソン (和名: オランダガラシ)
ピリツとした辛みが人気の西洋野菜。食欲増進、胃もたれ解消に効果があり肉料理の付け合せによく使われる。

TPP交渉に入り農業は大きな転換期を迎えようとしています。農地は水量調整のダム役目を果たすほか環境保全等多面的に市民の生命や財産、暮らしを守っています。脊振の麓に広がる棚田の風景も農業者の高齢化とともに壊れていくのではと危惧されています。都市化が進む本市にとっても無関心ではいけない重要な課題でもあります。今後の農業の問題と対策について6月議会でも質問しましたが、将来を見据えて各地で色々な取り組みが行われています。早良区の心身障がい者施設ではクレソン(西洋野菜)栽培が始まりました。外食産業への出荷を目指し日々頑張っておられます。